

FX5UJ/FX5U/FX5UC

◇ 形名体系 (CPUユニット, 入出力増設機器)

①	CPU区分	FX5UJ, FX5U, FX5UCなど	形名体系				
②	タイプ区分	C(増設コネクタタイプ) なし(増設ケーブルタイプ)					
③	入出力合計点数	8, 16, 24, 32, 40, 60, 64, 80, 96など					
④	ユニット区分	M	CPUユニット				
		E	入出力混合の増設機器				
		EX	入力増設ユニット				
		EY	出力増設ユニット				
⑤	出力形式	R	リレー出力				
		T	トランジスタ出力				
			FX5 - C 32 M R /ES - □ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦				
⑥	電源, 入出力方式	CPUユニット・増設ユニット			入出力増設ユニット		
		記号	電源	入力形式	トランジスタ出力形式	入力形式	トランジスタ出力形式
		/ES	AC	DC24V, シンク/ソース	シンク	シンク/ソース	-
		/ESS	AC	DC24V, シンク/ソース	ソース	-	ソース
		/DS	DC	DC24V, シンク/ソース	シンク	シンク/ソース	-
		/DSS	DC	DC24V, シンク/ソース	ソース	-	ソース
		/D	DC	DC24V, シンク	シンク	シンク	シンク
⑦	その他末尾の記号	-H	高速入出力機能拡張				
		-TS	スプリングクランプ端子台				

◇ 一般仕様 インテリジェント機能ユニットの仕様につきましては、各製品のマニュアルをご覧ください。

項目	仕様				
使用周囲温度*1	FX5UJ	FX5U, FX5UC			
	0~55°C, 凍結なきこと	-20~55°C, 凍結なきこと*2*3			
保存周囲温度	-25~75°C, 凍結なきこと				
使用周囲湿度	5~95%RH, 結露なきこと*4				
保存周囲湿度	5~95%RH, 結露なきこと				
耐振動*5*6	DINレール取付時	周波数	加速度	片振幅	X, Y, Z 各方向10回 (合計各80分)
		5~8.4Hz	—	1.75mm	
	8.4~150Hz	4.9m/s ²	—		
	直接取付時*12	5~8.4Hz	—	3.5mm	
		8.4~150Hz	9.8m/s ²	—	
耐衝撃*5	147m/s ² , 作用時間11ms, 正弦半波パルスにてX, Y, Z各方向3回				
ノイズ耐量	ノイズ電圧1000Vp-p ノイズ幅1μs, 周期30~100Hzのノイズシミュレータによる				
接地	D種接地(接地抵抗: 100Ω以下)<強電系との共通接地は不可>*7				
使用雰囲気	腐食性, 可燃性ガスがなく, 導電性のじんあい(ほこり)がひどくないこと				
使用標高*8	0~2000m				
設置場所	制御盤内*9				
オーバervolテージカテゴリ*10	II以下				
汚染度*11	2以下				

*1: 入出力のディレーティングがあります。詳細はマニュアルをご覧ください。

*2: 2016年6月より前に製造された製品は、0~55°Cになります。インテリジェント機能ユニットについては、各製品のマニュアルをご覧ください。

また、以下の機器は周囲温度0°C未満では使用できません。

FX5-40SSC-S, FX5-80SSC-S, FX5-CNV-BUS, FX5-CNV-BUSC, バッテリ (FX3U-32BL), SDメモリーカード (NZ1MEM-2GBSD, NZ1MEM-4GBSD, NZ1MEM-8GBSD, NZ1MEM-16GBSD, L1MEM-2GBSD, L1MEM-4GBSD), FX3増設ユニット, ターミナルユニット, 入出力ケーブル (FX-16E-500CAB-S, FX-16E-□CAB, FX-16E-□CAB-R)

*3: 0°C未満で使用する場合は仕様異なります。詳細はマニュアルをご覧ください。

*4: 低温環境下で使用するときは、急激な温度変化がない環境下で使用してください。制御盤の開閉等による急激な温度変化がある場合、結露が発生し、火災、故障、誤作動の原因となることがあります。また、結露を予防するために、空調で除湿をしてください。

*5: 判定基準はIEC61131-2による。

*6: 上記振動仕様以下の機器をシステムに含む場合、システム全体の耐振仕様はその機器の仕様に低減されます。

*7: 接地は、マニュアルをご覧ください。

*8: 大気圧以上に加圧した環境下では使用できません。故障する可能性があります。

*9: シーケンサ自体は屋内相当環境への設置を想定しております。

*10: その機器が公衆配電網から構内の機械装置にいたるまでの、どこかの配電部に接続されていることを想定しているかを示します。カテゴリIIは、固定設備から給電される機器などに適用されます。定格300Vまでの機器の耐サージ電圧は2500Vです。

*11: その機器が使用される環境における導電性物質の発生度合いを示す指標です。汚染度2は、非導電性の汚染しか発生しません。ただし、偶発的な凝結によって一時的な導電が起こりうる環境です。

*12: FX5UCは直接取付ができません。